

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公表番号】特表2009-535036(P2009-535036A)

【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-507945(P2009-507945)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/68 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月19日(2010.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

ある態様において、該方法は、対象におけるHCV感染と関係する遺伝子発現の第一レベルを第一時点で決定する工程(例えば、第一時点は、抗HCV治療剤(例えば、HCVプロテアーゼ阻害剤、例えば、VX-950)の投与開始の約1、2、3、4または5日前または投与中である。);対象における遺伝子発現の第二レベルを第一時点後の第二時点で決定する工程、好ましくは第二時点が、抗HCV治療剤の投与開始後である(例えば第二時点は、第一時点後の少なくとも1、2、3、4、5またはそれ以上の日後であるか、または、抗HCV治療剤の投与開始の7、8、9、10、11、12、13、14またはそれ以上の日後である。);そして、第一および第二レベルの遺伝子発現を比較する工程を含み、ここで、第一および第二時点での遺伝子発現の維持レベル(例えば、該レベルが、約60%、約50%、約40%、約30%、約20%、約10%、約5%、約2%、または約1%未満相違する。)が、処置剤の有効性を示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0228

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0228】

【表8】

Affymetrix プローブセット ID番号	遺伝子 記号	遺伝子の説明	GO生物学的過程	GO分子機能	GO細胞成分
206098_at	CCR1	ケモカイン(C-C モチーフ)受容体 1	走化性//炎症性反応//細胞接着 //Gタンパク質シグナリング、 環状ヌクレオチドセカンドメ ッセンジャーを伴う//細胞質 カルシウムイオン濃度の上昇 //細胞-細胞シグナリング//サ イトカインおよびケモカイン により仲介されるシグナル伝 達経路//シグナル伝達//Gタン パク質共役受容体タンパク質 シグナル伝達経路//走化性//免 疫反応//細胞表面受容体関連 シグナル伝達//創傷に対する 応答		
203547_at	CD4	CD4抗原 (P55)//CD4抗原 (P55)	免疫反応//細胞接着//貫膜受 容体タンパク質チロシンキナ ーゼシグナル伝達経路//T細胞 分化//T細胞選択//インターロ イキン-2生合成の正の制御// 免疫反応//シグナル伝達//細 胞表面受容体関連シグナル伝 達//酵素関連受容体タンパク 質シグナル伝達経路	貫膜受容体活性// コレセプター活性// MhcクラスIIタン パク質結合//タン パク質結合//亜鉛 イオン結合//受容 体活性//コレセプ ター活性//受容体 活性	原形質膜//膜全体 //T細胞受容体複合 体//原形質膜//膜

【表9】

Affymetrix プローブセットID 番号	遺伝子記号	遺伝子の翻訳 産物	GO生物学的過 程	GO分子機能	GO細胞成分
209287_s_at	CDC42EP3	Cdc42エフェクターダンパク質(Rho Gtp アーゼ結合)3	細胞形の制御	—	細胞骨格
212501_at	CEBPB	Ccaat/エンハンサー結合タンパク質(C/Ebp)ベータ	転写/転写の制御,Dna依存性//RnaポリメラーゼIIプロモーターからの転写//急性期反応//炎症性反応//免疫反応	転写因子活性//Dna結合	核//核
205212_s_at	CENTB1	センタウリン,ベータ1	細胞内シグナリングカスケード//Gtpアーゼ活性の制御//シグナル伝達	ホスホリバーゼC活性//Gtpアーゼアクティベーター活性//金属イオン結合//亜鉛イオン結合	—
205212_s_at	CENTB1	センタウリン,ベータ1	細胞内シグナリングカスケード//Gtpアーゼ活性の制御//シグナル伝達	ホスホリバーゼC活性//Gtpアーゼアクティベーター活性//金属イオン結合//亜鉛イオン結合	—
234562_x_at	CKLFSF8	ケモカイン様因子スーパーファミリー8	走化性//知覚	サイトカイン活性	細胞外スペース//膜//膜全体
206207_at	CLC	シャルコー・ライデン結晶タンパク質//シャルコー・ライデン結晶タンパク質	リン脂質代謝//発生//脂質異化//抗菌性 体液応答(脊椎動物)	リゾホスホリバーゼ活性//セリンエステラーゼ活性//糖結合//ヒドロラーゼ活性	—

【表10】

Affymetrix プローブセット ID番号	遺伝子 記号	遺伝子の説明	GO生物学的過程	GO分子機能	GO細胞成分
202160_at	CREB BP	Creb結合タンパク 質(ルビンスタイン- タイピー症候群)	低酸素症に対する応答 //転写の制御,Dna依存 性//タンパク質複合体 凝集//シグナル伝達// 恒常性//転写//転写の 制御,Dna依存性//転写 の制御//シグナル伝達 //転写の制御	転写因子活性//転写コア クティベーター活性//ヒ ストンアセチルトランス フェラーゼ活性//シグナ ル伝達因子活性//タンパ ク質結合//亜鉛イオン結 合//トランスフェラーゼ 活性//金属イオン結合// タンパク質結合//転写補 因子活性//転写コアクテ ィベーター活性//タンパ ク質結合//転写コアクテ ィベーター活性	核//細胞質//核
212180_at	CRKL	V-Crk肉腫ウイルス Ct10癌遺伝子相同 体(鳥類)様	タンパク質アミノ酸リ ン酸化//細胞運動性// 細胞内シグナリングカ スケード//Jnkカスケ ード//Rasタンパク質 シグナル伝達//細胞内 シグナリングカスケー ド	タンパク質-デロシンキナ ーゼ活性//Sh3/Sh2アダ プター活性//タンパク質 結合//シグナル伝達因子 活性	—
214743_at	CUTL1	Cut-様1,Ccaa1置換 タンパク質(ショウ ジョウバエ)	RnaポリメラーゼIIプロ モーターからの負の転 写制御//転写//発生// 転写の制御,Dna依存性 //発生//Rnaポリメラ ーゼIIプロモーターか らの転写の制御	転写因子活性//Rnaポリ メラーゼII転写因子活性 //Dna結合	核

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 3 0】

【表14】

Affymetrix プローブセットID	遺伝子 記号	遺伝子の説明	GO:生物学的過程	GO:分子機能	GO:細胞 成分
215206_at	EXT1	Exostoses (複合体)1	骨格発生// グルコサミノグルカン 合成//細胞周期//シ グナル伝達//ペプチ ン硫酸プロテオグリカン 合成//細胞周期進行 の負の制御	トランスフェラーゼ活性/グリ コシル基転移//グルクロノシル -N-アセチルグルコサミニル- プロテオグリカン4アルファ-N- アセチルグルコサミニルトラン スフェラーゼ活性//N-アセチル グルコサミニル-プロテオグ リカン4ベータ-グルクロノシ ルトransフェラーゼ活性	小胞体膜// ゴルジ層 //膜//膜 全体// 小胞体 膜全体// 小胞体 //ゴルジ体
224840_at	FKBP5	Fk506 結合タンパ ク質5	タンパク質フォールデ ィング//タンパク質フ ォールディング	ペプチジルペロリルシスト トランスイソメラーゼ活性 //Fk506結合//イソメラーゼ活 性//変性タンパク質結合//タン パク質結合//結合	核
218999_at	FLJ11000	仮定的タンパク 質FL11000	---	---	---
218035_s_at	FLJ20273	Rna結合タンパ ク質	---	スクレオチド結合//核糖結合 //Rna結合	---
219717_at	FLJ20280	仮定的タンパク 質FL20280	---	---	---
222751_at	FLJ22313	仮定的タンパク 質FL22313	タンパク質 修飾	---	---
219359_at	FLJ22635	仮定的タンパク 質FL22635	---	---	---
230012_at	FLJ34790	仮定的タンパク 質FL34790	---	---	---
211074_at	FOLR1	葉酸受容体 1 (大人)// 葉酸受容体 1 (大人)//	受容体仲介エンドサ イトーシス// 葉酸輸送	受容体活性//葉酸結合//受容体 活性//葉酸結合	膜画分//細胞 膜全体//膜

【表15】

Affymetrix プローブセット ID番号	遺伝 子記 号	遺伝子の統明	GO生物学的過程	GO分子機能	GO構成成分
209189_at	FOS	V-Fos Fbj マウス骨肉腫ウイルス性癌遺伝子相同体	Dnaメチル化// RnaポリメラーゼIIプロモーターからの転写の制御//炎症性反応//転写の制御,Dna依存性	Dna結合//特異的RnaポリメラーゼII転写因子活性	核//核
228188_at	FOSL 2	Fos-様抗原2	RnaポリメラーゼIIプロモーターからの転写の制御//細胞死//転写の制御,Dna依存性	転写因子活性//Dna結合	核//核
200969_at	FUS	融合(悪性間筋肉腫のT(12;16)に関与)	免疫反応	スクレオチド結合 //Dna結合//Rna結合 //タンパク質結合//亜鉛イオン結合//金属イオン結合//核糖結合 //Rna結合//腫瘍壞死因子受容体結合	核//核//膜
205483_s_at	G1P2	インターフェロン,アルファ-誘導タンパク質(クローン IF-15K)	タンパク質修飾//免疫反応//細胞-細胞シグナリング	タンパク質結合	細胞外スペース//細胞質
204415_at	G1P3	インターフェロン,アルファ-誘導タンパク質(クローン IF-6-16)	免疫反応//ペスト、病原菌または寄生虫に対する応答//免疫反応	-	膜全体
212804_s_at	GAPV D1	Gtpアーゼ活性化タンパク質およびVps9ドメインs1	-	-	-
209604_s_at	GATA 3	Gata結合タンパク質3	転写//転写の制御,Dna依存性// RnaポリメラーゼIIプロモーターからの転写//防御反応//音の知覚//形態形成	転写因子活性//金属イオン結合//Dna結合 //転写因子活性//亜鉛イオン結合//Dna結合	核
235574_at	GBP4	グアニル酸結合タンパク質4	免疫反応	Gtpアーゼ活性//Gtp結合//スクレオチド結合	-

【表16】

Affymetrix プローブセッ トID番号	遺伝子 記号	遺伝子の説明	GO生物学的過程	GO分子機能	GO細胞成分
203925_at	GCLM	グルタミン酸 -システイン リガーゼ,修飾 サブユニット	システイン代謝//グルタチ オン合成	グルタミン酸-システ インリガーゼ活性// オキシドレダクター 活性//リガーゼ活 性	—
202615_at	GNAQ	グアニヌク レオチド結合 タンパク質(G タンパク 質),Qポリペ プチド	タンパク質アミノ酸Adp-リ ボシル化//シグナル伝達 //Gタンパク質共役受容体 タンパク質シグナル伝達経 路//ホスホリパーゼC活性化 //血液凝固	ヌクレオチド結合 //Gtpアーゼ活性//シ グナル伝達因子活性 //Gtp結合//グアニル ヌクレオチド結合	細胞質//ヘテロ三量 体Gタンパク質複合 体//原形質膜
220404_at	GPR97	Gタンパク質- 共役受容体97	シグナル伝達//Neuroペプチ ドシグナル伝達経路//G-タ ンパク質共役受容体タンパ ク質シグナル伝達経路	受容体活性//G-タン パク質共役受容体活 性//シグナル伝達因 子活性	膜//膜全体//膜全体
211630_s_at	GSS	グルタチオン 合成酵素//グ ルタチオン合 成酵素	アミノ酸代謝//グルタチオ ン合成//酸化的ストレス に対する応答//神経系発生	ヌクレオチド結合// グルタチオンシンタ ーゼ活性//Atp結合// リガーゼ活性//グル タチオンシンターゼ 活性	—
204805_s_at	H1FX	H1ヒストンフ ァミリー,メン バーX	ヌクレオソーム凝集//染色 体形成および生合成(真核生 物)//ヌクレオソーム凝集	Dna結合//Dna結合	ヌクレオソーム//核 //染色体//ヌクレオ ソーム
214500_at	H2AFY	H2Aヒストン ファミリー,メ ンバーY	ヌクレオソーム凝集//染色 体形成And生合成(真核生 物)//遺伝子量補正//(ヌクレ オソーム凝集	Dna結合//Dna結合	ヌクレオソーム//核 //染色体//バー小体 //ヌクレオソーム

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 3 3】

【表23】

Affymetrix プローブセットID	遺伝子 記号	遺伝子の説明	GO 生物学的過程	GO 分子機能	GO 細胞成分
200704_at	LITAF	リボヌクレオティドTrf 因子	転写// Rnaポリメラーゼ IIプロモーターからの転 写の制御//M-KappaBキナ ーゼ//NF-KappaBカスケ ードの正の制御//轉写の制 御Dna依存性	RnaポリメラーゼII 転写因子活性 //シグナル伝達因子 活性	核
220036_s_at	LMBR1L	Limb領域1相同体 (マウス)様	---	受容体活性	---
226375_at	LMTK2	キツネザルチロシ ンキナーゼ2	タンパク質アミノ酸リン 酸化//タンパク質アミノ 酸自己リン酸化//タンパ ク質アミノ酸リン酸化// タンパク質アミノ酸リン 酸化//タンパク質アミノ 酸自己リン酸化	タンパク質セリン/ スレオニンキナーゼ 活性//タンパク質ホス ファーゼ阻害剂結合 //タンパク質結合// Atp結合//スクレオチ ド結合//タンパク質 キナーゼ活性//タンパ ク質チロシンキナ ーゼ活性//Atp 結合// キナーゼ活性//トラン スフェラーゼ活性// タンパク質結合// タンパク質セリン/ スレオニンキナーゼ 活性//タンパク質ホス ファーゼ阻害劑 活性//Atp結合	膜全体/// 膜全体
226702_at	LOC129607	仮定的タンパク質 Loc129607	Dtp生合成//Dtp生合成	チミジル酸キナーゼ 活性//Atp結合// キナーゼ活性	---
224990_at	LOC201895	仮定的タンパク質 Loc201895	---	タンパク質結合	---
226640_at	LOC221955	Kccr13L	脂質代謝	トリアルギリセロール リバーゼ 活性	---
225794_s_at	LOC91689	AI449243により支 持される仮定的遺伝子	---	---	---
228320_x_at	LOC92558	仮定的タンパク質 Loc92558	---	---	---

【表24】

Affymetrix プローブセット ID番号	遺伝子記 号	遺伝子の説明	GO生物学的過程	GO分子機能	GO細胞成分
204692_at	LRCH4	ロイシンに富むリピートおよびカルボニン相同体y(Ch)ドメイン含有4	神経系発生	--	--
223552_at	LRRC4	ロイシンに富むリピート含有4	--	--	膜全体
205859_at	LY86	リンパ球抗原86	アポトーシス//炎症性反応//体液性免疫反応//シグナル伝達//細胞増殖//免疫反応	シグナル伝達因子活性	原形質膜
226748_at	LYSMD2	Lysm,推定的ペプチドグリカン結合ドメイン含有2	細胞壁異化	--	--
207922_s_at	MAEA	マクロファージ赤芽球付着体	アポトーシス//細胞接着//発生	--	膜画分//原形質膜全体
204970_s_at	MAFG	V-Maf小胞型性線維肉腫癌遺伝子相同体G(鳥類)	転写//転写の制御,Dna依存性//RnaポリメラーゼIIプロモーターからの転写	転写因子活性//Dna結合	クロマチン//核
228582_x_at	MALAT1	転写開始部位癌腫転写物1(ノンコーディングRna)	--	--	--
232333_at	MAML2	Mastermind-様2(ショウジョウバエ)	転写//転写の制御,Dna依存性//ノッティシグナル伝達経路//RnaポリメラーゼIIプロモーターからの正の転写の制御//ノッティシグナル伝達経路	転写コアクティベーター活性//触媒活性//タンパク質結合//Camp反応要素結合タンパク質結合	核//核

【表25】

Affymetrix プローブセッ ND番号	遺伝子記号	遺伝子の説明	GO生物学的過程	GO分子機能	GO細胞成分
232726_at	MAML3	Mastermind-様 3(ショウジョウバ エ)	転写//転写の制 御,Dna依存性//ノ ットシングナル伝達 経路// Rnaポリメ ラーゼIIプロモタ ーからの正の転写 の制御	転写コアクティベーター活 性	核
208785_s_at	MAP1LC3B	微小管-関連タン パク質伴鎮3ペー タ	ユビキチン周期// 自食作用	タンパク質結合	微小管//膜//自己 食空胞//オル ガネラ膜//空胞
203837_at	MAP3K5	マイトージェン- 活性タンパク質キ ナーゼキナーゼキ ナーゼ5	Map3kカスケード ///タンパク質アミ ノ酸リン酸化//ア ボトーシス//スト レスに対する応答 ///Jnk活性の活性化 ///細胞外シグナル によるアポトーシ スの誘導	ヌクレオチド結合//マグネ シウムイオン結合//タンパ ク質セリン/スレオニンキナ ーゼ活性//Mapキナーゼキナ ーゼキナーゼ活性//タンパ ク質-デロシンキナーゼ活性 //Atp結合//トランスフェラ ーゼ活性//タンパク質自己 結合//タンパク質結合//タン パク質キナーゼ活性//キナ ーゼ活性//金属イオン結合	—
1552264_a_at	MAPK1	マイトージェン- 活性タンパク質キ ナーゼ1	タンパク質アミノ 酸リン酸化//アボ トーシス誘導//走 化性//ストレスに 対する応答//細胞 周期//シグナル伝 達//シナプス伝達	ヌクレオチド結合//タンパ ク質セリン/スレオニンキナ ーゼ活性//Mapキナーゼ活性 //タンパク質-デロシンキナ ーゼ活性//Atp結合//トラン スフェラーゼ活性//タンパ ク質キナーゼ活性//Mapキナ ーゼ活性//キナーゼ活性	—
211574_s_at	MCP	膜補因子タンパク 質(Cd46,栄養芽細 胞-リンパ球交差 反応性抗原)	免疫反応//補体活 性化,古典的経路// 先天的免疫反応// 補体活性化	受容体活性	原形質膜//原形 質膜全体//膜全 体